

琵琶法師たちが伝えた 『平家物語』と日本の音楽 (邦楽)



「学校巡回公演」

全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的としています。

ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



文化庁

舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)

独立行政法人日本芸術文化振興会

■平家語り研究会

盲人音楽家によって伝えられてきた伝統音楽「平家（平家琵琶）」を次世代に伝えることを目的に開催されている研究会です。武蔵野音楽大学名誉教授の薦田治子の呼びかけに応じ、菊央雄司・田中奈央一・日吉章吾の三人が2015年より活動が続けています。たくさんの日本の芸能に大きな影響を与えた「平家」を、文化庁の委託も受けて広く紹介し、その普及に努めています。三人の演奏家たちは、ファンの方たちから親しみをこめて“平家ブラザーズ”と呼ばれています。

出演者

菊央雄司

大阪府出身。地歌争曲という音楽の第一線で活躍中の演奏家。
権威あるコンクールでの最優秀賞、
また令和5年度文化庁芸術選奨新人賞など
たくさんの賞を受賞しています。



田中奈央一

東京都出身。山田流という流派で活躍する演奏家。
東京藝術大学を卒業し、その後大学院で専門的に
学びました。古典音楽だけでなく新しいチャレンジも
続けています。東京藝術大学や高校で先生もしています。



日吉章吾

静岡県出身。生田流という流派で活躍する演奏家。
東京藝術大学、そして大学院で専門的に日本の音楽を
学びました。数々のコンクールなどで最優秀賞を受賞し、
東京藝術大学で先生もしています。



スタッフ

企画／構成

平家語り研究会・小野木豊昭（古典空間）

舞台監督／舞台

Whoopee Connections

制作

(有) 古典空間

平家物語とは？

今から八百年前に活躍した琵琶法師たちが、演奏とともに語り伝えたのが『平家物語』です。

同時に琵琶法師たちは、今に伝わる「日本の音楽」をつくり出した音楽家でもありました。

その伝統を受け継ぐ三人の演奏家が、平家琵琶、箏、三絃（三味線）、胡弓：四種類すべての楽器を演奏しながら、

その音色と日本の音楽をみなさんにお楽しみいただきます。

琵琶



琵琶は、七～八世紀頃、中国から伝わったといわれています。

起源はペルシャで、日本では（ ）の楽器の一つとして演奏されましたが、平安時代に（ ）という盲人音楽家が現れ、物語を語って聞かせるために用いられるようになりました。

本日演奏される「平家琵琶」は、鎌倉時代に成立したジャンルです。

楽琵琶・薩摩琵琶・筑前琵琶などの種類があり、

楽器の大きさや素材のほか、棹に固定された「柱」や撥の形が異なります。絃は（ ）を用います。

箏



箏は（ ）本の絃を持つ楽器です。奈良時代に中国より伝わり、雅楽の楽器の一つとして演奏され、その後に様々な改良が重ねられました。

（ ）の木をくり抜いて作られ、長さは約（ ）センチ。絃は絹糸が用いられますが、現在では「テトロン」という化学繊維が主流です。それぞれの絃に「柱」を立てて、その柱を左右に動かして音の高低を作ります。右手の親指、人差し指、中指に爪を付けて演奏し、現在ではより幅広い音域を持つ「二十五絃」などの多絃箏や低音楽器の「十七絃」も開発されています。

三絃（三味線）



十六世紀後半、沖縄の三線が大阪に伝わり、琵琶法師という盲人の音楽家が演奏したことから、琵琶のように（ ）を使って弾くようになったといわれています。その後、大きさや素材など様々な改良が重ねられました。

棹の太さや胴の大きさにより太棹三味線・中棹三味線・細棹三味線の三種類に分けられます。胴は木の枠の両面に革が張られ、太鼓のような構造です。棹には主に「紅木」という硬くて重い木が用いられます。撥や駒には象牙や鼈甲・水牛の（ ）なども使われます。絃には絹糸を何本も撚り合わせた専用の糸を使用しますが、近年では化学繊維も使われています。

本日のメニュー

古くから伝わる名曲を聴いてみよう！

①

その1
三曲合奏『六段の調』作曲 八橋検校

②

楽器紹介 その1
箏、三絃（三味線）、胡弓 紹介コーナー

③

楽器紹介 その2
平家琵琶 紹介コーナー

④

体験発表コーナー
私も琵琶法師！
ワークシヨップの成果発表会

⑤

平家琵琶で語る校歌！
校歌が八百年前にタイムスリップ！

⑥

平家琵琶 演奏
『那須与一』（平家物語より）

⑦

古くから伝わる名曲を聴いてみよう！
その2
三曲合奏『松竹梅』作曲 三橋勾当

胡弓



日本の擦絃楽器（ヴァイオリンのように弓で絃をこすって音を出す楽器）は胡弓だけです。三味線と同じ頃に日本に伝わったのではないかとされていますが、詳しい事はわかっていません。

形や構造は“ミニ（ ）”と言えるほど（ ）と似ています。

弓は一メートル程の長さで、（ ）の（ ）を束ね、松脂を付けて弾きますが、チェロのように右手に持った弓の角度を変え、左手に持った楽器の棹を回転させるのも特徴です。